



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 メンバーズ

コード番号 2130 URL <http://www.members.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 剣持 忠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員兼コーポレートサ (氏名) 小峰 正仁

TEL 03-5843-5333

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,278	—	153	—	179	—	177	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 175百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,303.10	6,199.61
23年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,846	1,143	61.7
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,139百万円 23年3月期 100百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,702	—	171	—	195	—	192	—	6,829.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	29,560 株	23年3月期	29,560 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,343 株	23年3月期	1,343 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	28,217 株	23年3月期3Q	28,217 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した業績予想数値は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響による経済活動の落ち込みは回復基調であるものの、タイの洪水被害や欧州金融不安、円高の長期化などによる経済の先行きへの不透明感が懸念されています。

インターネット業界においては、震災による広告出稿の自粛などの影響が生じている一方、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）が企業、ユーザー双方に欠かせないサービスとなり、また実名インターネット時代を象徴するFacebookの浸透によってインターネット業界は新たな局面へと移行しております。

当社グループにおいても一部クライアントの広告売上が減少しておりますが、ソーシャルメディア関連サービスの需要は高く特にFacebook関連サービスの売上は引き続き堅調に推移しました。

当社グループはFacebookマーケティングを中心としたソーシャルメディアマーケティングへの取り組みが企業のネットマーケティングの中核となることを想定して、中期経営計画に沿って「ソーシャルメディア時代をリードし、クライアントと共にビジネスを創造するネットビジネスパートナー」となるべく、前期より事業モデルの転換や強化を図っております。その成果として多くのナショナルクライアント等のFacebookマーケティング支援の実績を積み上げてきております。

同時に、続々と参入してきている競合との差別化のため、当期よりFacebookと連携したWeb施策を行うことで企業のマーケティング効果の最大化を担っていくための「Facebookインテグレーション」というソリューションを立ち上げております。さらに、ファンと企業との緊密度合いを意味する“エンゲージメント”向上に特化した調査・研究を本格的に行う「エンゲージメントラボ」を設立して、広範で高度なノウハウの蓄積・確立していくことで更なる差別化を図ってまいります。

従来の強みであるネットビジネス運営代行においても中期的な成長を図っており、競争力向上のため定義した「メンバーズ・クオリティ」の徹底や利益率マネジメントに加えて、仙台サテライトオフィスを拡大して今春に仙台オフィスを設立することで、雇用を通じた地方経済の活性化に貢献するとともに、Webサイト運用サービスの安定拡大に向けた専門職としてネットクルー職の確保にも積極的に投資してまいります。また、ソーシャルメディア、スマートフォンやタブレットPCの普及でますます複雑化・高度化するネットビジネスにおいて、包括的な運営のアウトソーシングニーズが高まることが予想されるため、それに向けてプロデューサー&ネットクルーの確保・育成、品質の向上への取り組みを継続してまいります。

また、平成23年4月1日付で100%子会社である株式会社コネクトスターを設立し、Facebookをベースとした消費者向けのサービスを30個立ち上げていく“プロジェクト F30”第1弾として、マンガSNSである「MANGAful Days」、7月には第2弾として、東進ハイスクールなどの進学塾大手の株式会社ナガセとジョイントベンチャーである株式会社Studymateを設立し、学習支援SNS「Studymate」をスタートしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,278百万円、営業利益は153百万円、経常利益は179百万円、四半期純利益177百万円となりました。

※ 第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,846百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金869百万円、受取手形及び売掛金769百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は702百万円となりました。その主な内訳は、買掛金が363百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,143百万円となりました。その主な内訳は、資本金771百万円であります。

※ 第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の「決算短信」に記載しました業績予想を下記のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表 (A)	4,702	171	169	166
今回発表 (B)	4,702	171	195	192
増減額 (B - A)	—	—	26	26
増減率 (%)	—	—	15.4	15.6
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	—	—	—	—

※平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期実績は記載しておりません。

(修正理由)

過去取引に係る償却債権取立益26百万円を営業外収益として計上したため、通期予想の経常利益、当期純利益が前回発表予想から上回る見込みとなり、前回発表予想を修正しております。売上高、営業利益は発表予想を変更しておりません。なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	869,073
受取手形及び売掛金	769,771
仕掛品	24,980
その他	14,219
貸倒引当金	△382
流動資産合計	1,677,663
固定資産	
有形固定資産	32,433
無形固定資産	9,703
投資その他の資産	126,446
固定資産合計	168,583
資産合計	1,846,246
負債の部	
流動負債	
買掛金	363,937
1年内返済予定の長期借入金	16,008
未払法人税等	4,040
賞与引当金	51,549
その他	238,924
流動負債合計	674,459
固定負債	
長期借入金	22,638
その他	5,827
固定負債合計	28,465
負債合計	702,925
純資産の部	
株主資本	
資本金	771,275
資本剰余金	401,738
利益剰余金	14,076
自己株式	△45,415
株主資本合計	1,141,674
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,908
その他の包括利益累計額合計	△1,908
新株予約権	3,555
純資産合計	1,143,321
負債純資産合計	1,846,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	3,278,246
売上原価	2,571,109
売上総利益	707,137
販売費及び一般管理費	553,467
営業利益	153,670
営業外収益	
受取利息	72
受取配当金	128
受取手数料	769
償却債権取立益	26,000
その他	81
営業外収益合計	27,051
営業外費用	
支払利息	1,022
その他	111
営業外費用合計	1,134
経常利益	179,587
特別利益	
投資有価証券売却益	399
特別利益合計	399
特別損失	
投資有価証券評価損	280
特別損失合計	280
税金等調整前四半期純利益	179,707
法人税、住民税及び事業税	1,852
法人税等合計	1,852
少数株主損益調整前四半期純利益	177,854
四半期純利益	177,854

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		177,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△2,278
その他の包括利益合計		△2,278
四半期包括利益		175,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		175,576
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。